

地方創生第2幕・加速化に向けた行動宣言 ～WITHコロナからアフターコロナへ～（案）

今や最大の国難となった「新型コロナウイルス」に、「人口減少」及び「災害列島」を加えた「3つの国難」の打破に向け、“一刻の猶予も許されない”との強い決意のもと、国と地方が一体となり、「地方創生」の取組みを強力に推進することが求められています。

本県では、「地方創生“挙県一致”協議会」を核として、令和2年度にスタートした地方創生の第2幕において新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図る観点から「vs東京『とくしま回帰』総合戦略」に盛り込んだ徳島ならではの「具体的な実践策」のリスタートを展開してきました。

来る令和3年度は、「政府関係機関移転」や「テレワーク推進」、「地方大学の活性化」など、「分散型国土」形成に先駆けて取り組んできた徳島として、「WITHコロナ」から「アフターコロナ」への流れを俯瞰し、コロナ禍で生まれた「価値観の変容」をしっかりと捉え、「地方創生第2幕」のさらなる進化を加速していくことが重要となります。

そこで、我々協議会は、「地方創生」実現に向けて想いを新たに、「課題解決先進県・徳島」の誇りを胸に、挙県一致で、次の行動を実践することをここに宣言します。

- 1 「3つの国難」打破に向け、「デジタル社会」「グリーン社会」実装に向けた取組みを基盤として、地方創生のさらなる進化を加速化し、「新次元の分散型国土」をここ徳島から実現できるよう、挙県一致で積極果敢に取り組めます。
- 2 地方創生の具現化に向け、コロナ禍で生まれた「新しい価値観」に基づき、機を逃さず、スピード感を持って推進すべき施策として、「持続性」「創造性」「革新性」「多様性」の四つの柱により、重点化を図って参ります。
- 3 「新しい生活様式」による「ニューノーマル社会」の中で、本県に根ざした「おもてなし精神」に溢れる「住んでみんで！」の想いのもと、人や企業が回帰する「ふるさと徳島」の実現に向けた取組みを強力に推進します。

令和3年2月4日

地方創生“挙県一致”協議会
（「住んでみんで徳島で！」県民会議）



とくしま創生サポーター
すだちくん